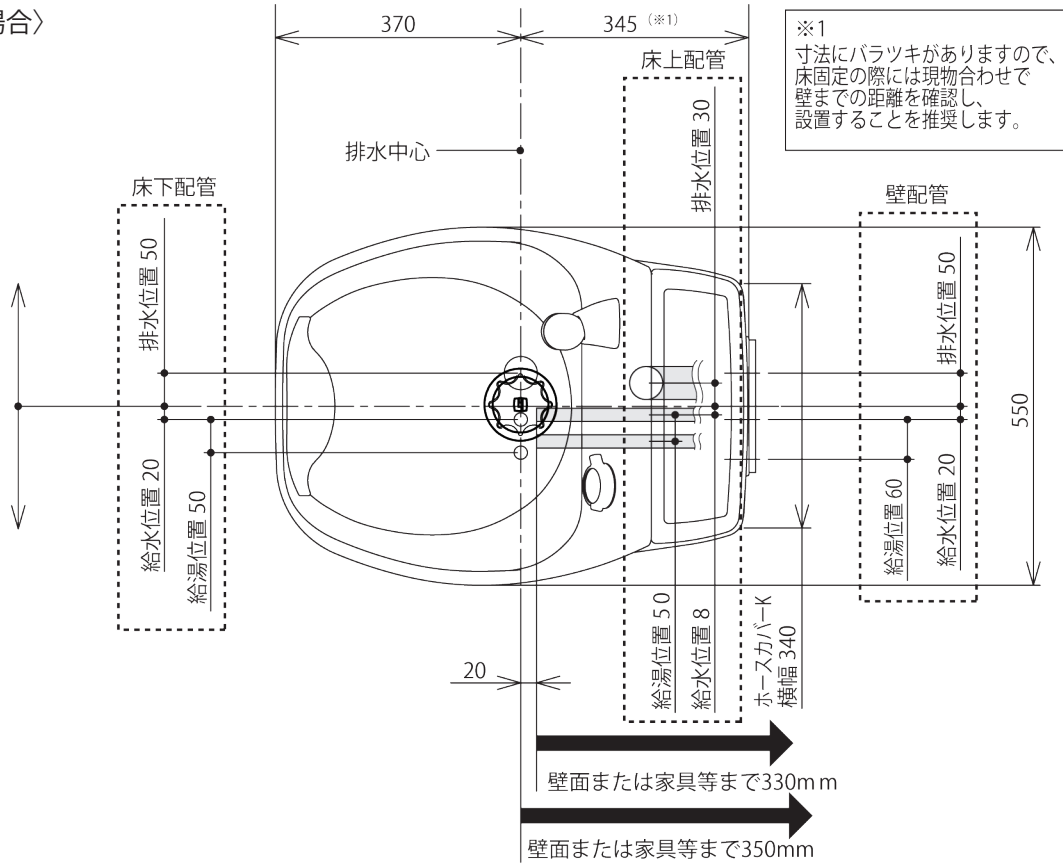


設置の前に

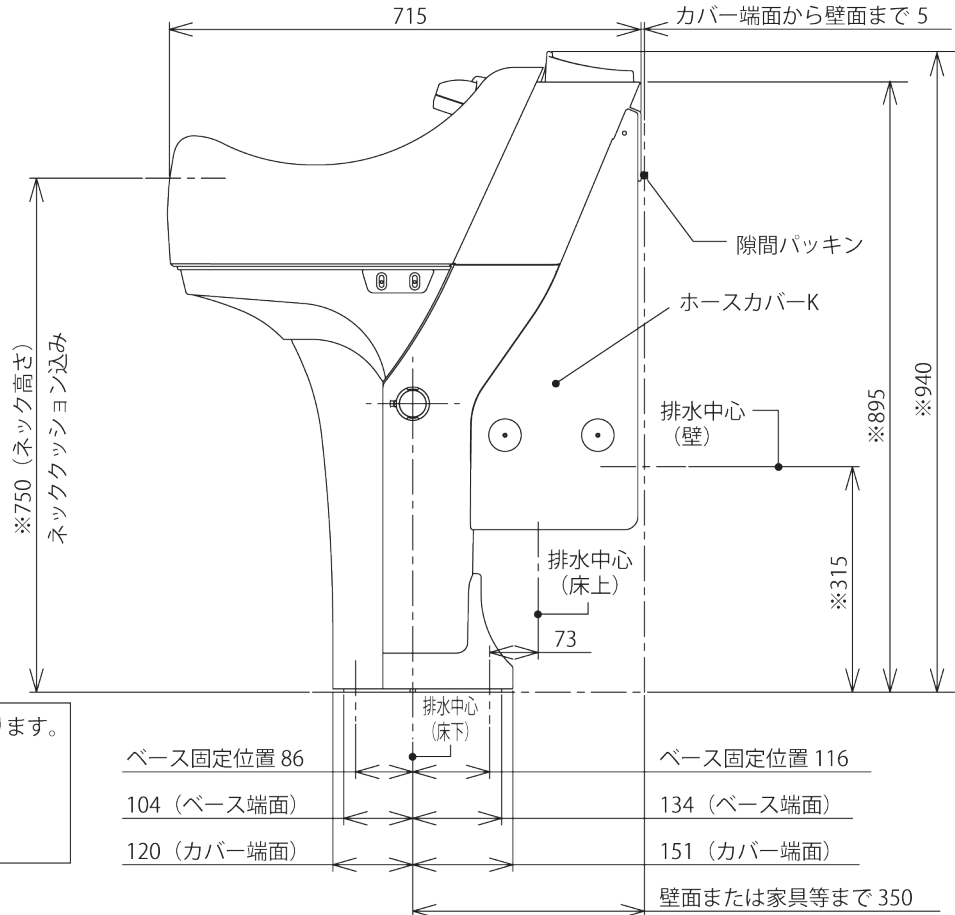
■ 全体レイアウト図

(EX-NBNK*の場合)

- 中心からボウル側面まで275mm
- 中心から壁面または家具等まで775mm以上
(施工スペース500mm含む)
- 複数台設置の場合
MINON間の中心ピッチ1100mm以上
※設置するチェアによって寸法は異なります。
チェア間には必ず通路を確保してください。
(通路幅450mm以上)



※1
寸法にバラツキがありますので、床固定の際には現物合わせて壁までの距離を確認し、設置することを推奨します。

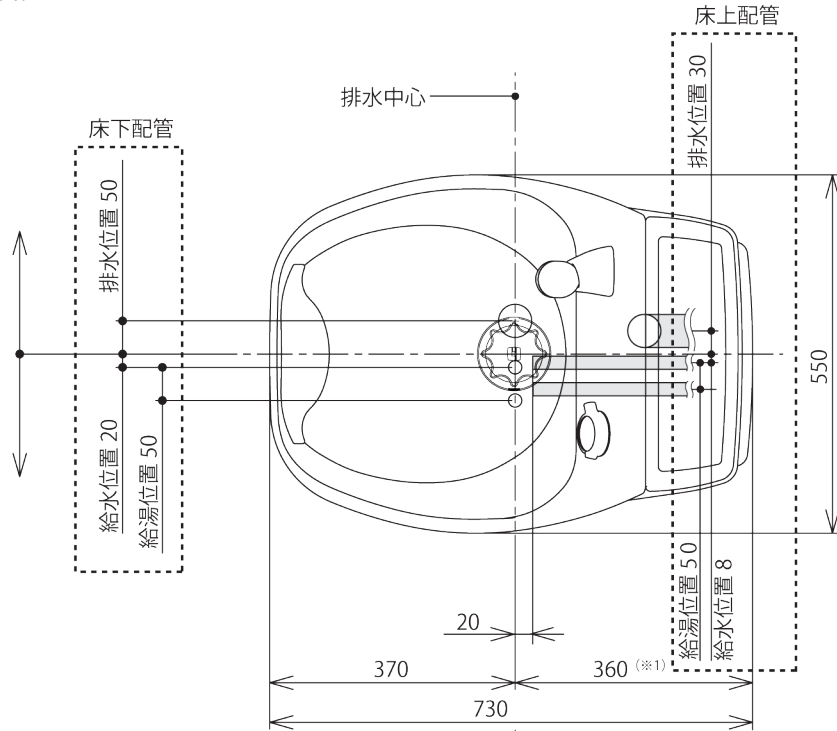


※高さ仕様によって寸法が異なります。
H仕様の場合：+50mm
M仕様の場合：+25mm
L仕様の場合：±0mm

ベース固定位置 86	ベース固定位置 116
104 (ベース端面)	134 (ベース端面)
120 (カバー端面)	151 (カバー端面)
	壁面または家具等まで 350

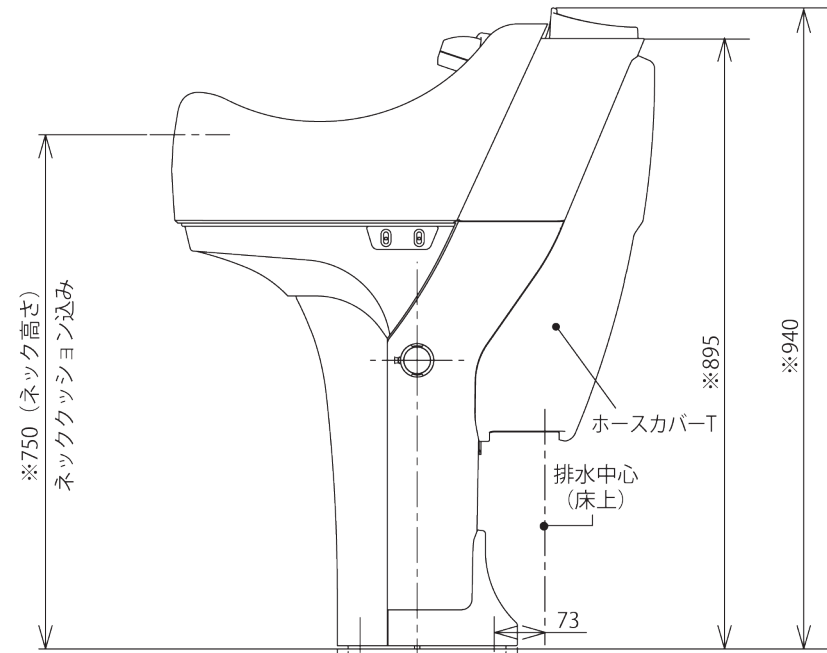
〈EX-NBNT* の場合〉

- 中心からボウル前面まで275mm
 - 中心から壁面または家具等まで775mm以上
(施術スペース500mm含む)
 - 複数台設置の場合
MINON間の中心ピッチ1100mm以上
- ※ 設置するチェアによって寸法は異なります。
チェア間には必ず通路を確保してください。
(通路幅450mm以上)



※1
寸法にバラツキがありますので、
床固定の際には現物合わせで
壁までの距離を確認し、
設置することを推奨します。

壁面または家具等まで推奨960mm以上 (通路600mm含む)
[最低460mm以上 (ホースカバー取り外し100mm含む)]



※高さ仕様によって寸法が異なります。
H仕様の場合：+50mm
M仕様の場合：+25mm
L仕様の場合：±0mm

ベース固定位置 86	排水中心 (床下)	排水中心 (床上)	ベース固定位置 116
104 (ベース端面)			134 (ベース端面)
120 (カバー端面)			151 (カバー端面)

■ 床面について

○床面材料・床面仕上げ材は、防水材料もしくは防水加工したものを使用してください。

○床面は必ず水平を確保してください。

○床面は、取付部分に凹凸がないよう平滑にしてください。

床面に凹凸があると機器が傾いたり、右図のようにカバーが取り付かなくなるおそれがあります。

床面仕上げ材の施工の際は特に注意してください。

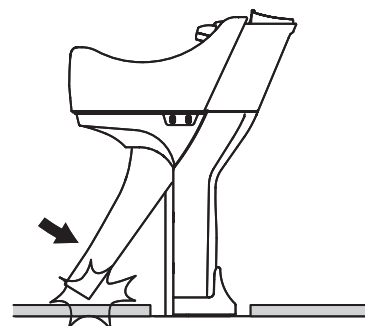
○配管立上

[配管仕様]

給湯・給水	Rc1/2"
排水	VU40/VP40

[立ち上げ寸法]

高さ仕様	壁配管仕様			床下配管仕様			床上配管仕様（壁設置）		
	L	M	H	L	M	H	L	M	H
給湯・給水	50mm			50mm	75mm	100mm			
排水	60mm			60mm	85mm	110mm	235mm	260mm	285mm



○床面仕上げがタイル等の素材の場合、NSS MINON WALL 本体取付時のボルト締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、製品固定位置図および型紙を参考に、取付部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。

○床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニヤ厚は30mm以上（15mm 板2枚重ね以上）です。
モルタル床の場合	モルタル厚は50mm以上です。
特殊な床（石張り等）の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

■ 漏水対策について

- ・階上設置される場合は、必ず防水処理（防水工事、ステンレス鋼板製等のパンの設置、もしくは漏水センサーの設置等）を行ってください。
- ・配管立ち上げ部の開口部と配管との隙間は必ずコーキング剤等でふさいでください。

■ 配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。

この内容を十分にご確認の上、正しい配管工事を行ってください。

- ・本製品を設置されるときは、『タカラグループ給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。注意を怠って配管されますと、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。
- ・本製品は室内専用です。設置は必ず室内で行ってください。

■ 配管施工上の注意

○給水（一次給水）配管

- ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。

- 給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。
原則としてVP 管または、その地域の指定材料をご使用ください。
- 給湯配管には標準として脱酸銅管、Lタイプを使用してください。
- 給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。
- 管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。
- 空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。
- 給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はトラブルの原因となりますので、必ず除去してから配管接続してください。
- 配管接続を行い、通水テスト後に必ずストレーナーおよびシャワーヘッドの掃除をしてください。
- 排水管の勾配は、排水管径φ 75 未満は1/50 以上、φ 75 以上は1/100 以上にしてください。
- 湯・水を逆配管しないでください。逆配管は水栓金具の温度調整不良の原因になり、やけどの危険があるなどトラブルの原因となります。
- 給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。
長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。
- 配管後は、必ず保温材を巻いてください。
- 温水ボイラーの配管要領について
 - ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
 - ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。
- 器具にヘアキャッチャーが内蔵されています。

使用条件

■ 使用給湯・給水条件

使用水	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。） ・硬度が80ppm 以上の場合は、機器へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。
給湯・給水圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・0.1 ～ 0.4MPa(1 ～ 4kgf/cm²) の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも0.1MPa(1kgf/cm²) 以下にならないようにしてください。 ・給水圧力≧給湯圧力にしてください。 ・給湯圧力と給水圧力の差は、0.2MPa(2kgf/cm²) 以内にしてください。
機器への給湯温度	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯温度は 80℃以下にしてください。 ・使用シャワー温度より10℃以上高くしてください。
給湯機	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯機は、理美容サロン専用の暖流システムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、『タカラ同時給湯システム暖流工事の手引き』を参照してください。 ・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号以上を使用してください。（洗髪能力は、瞬間湯沸かし器1台につき、NSS MINON WALL 機器1台です。） ・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。 ・給湯には蒸気を使用しないでください。

製品固定位置図

床面がタイルおよびガラス仕上げの場合

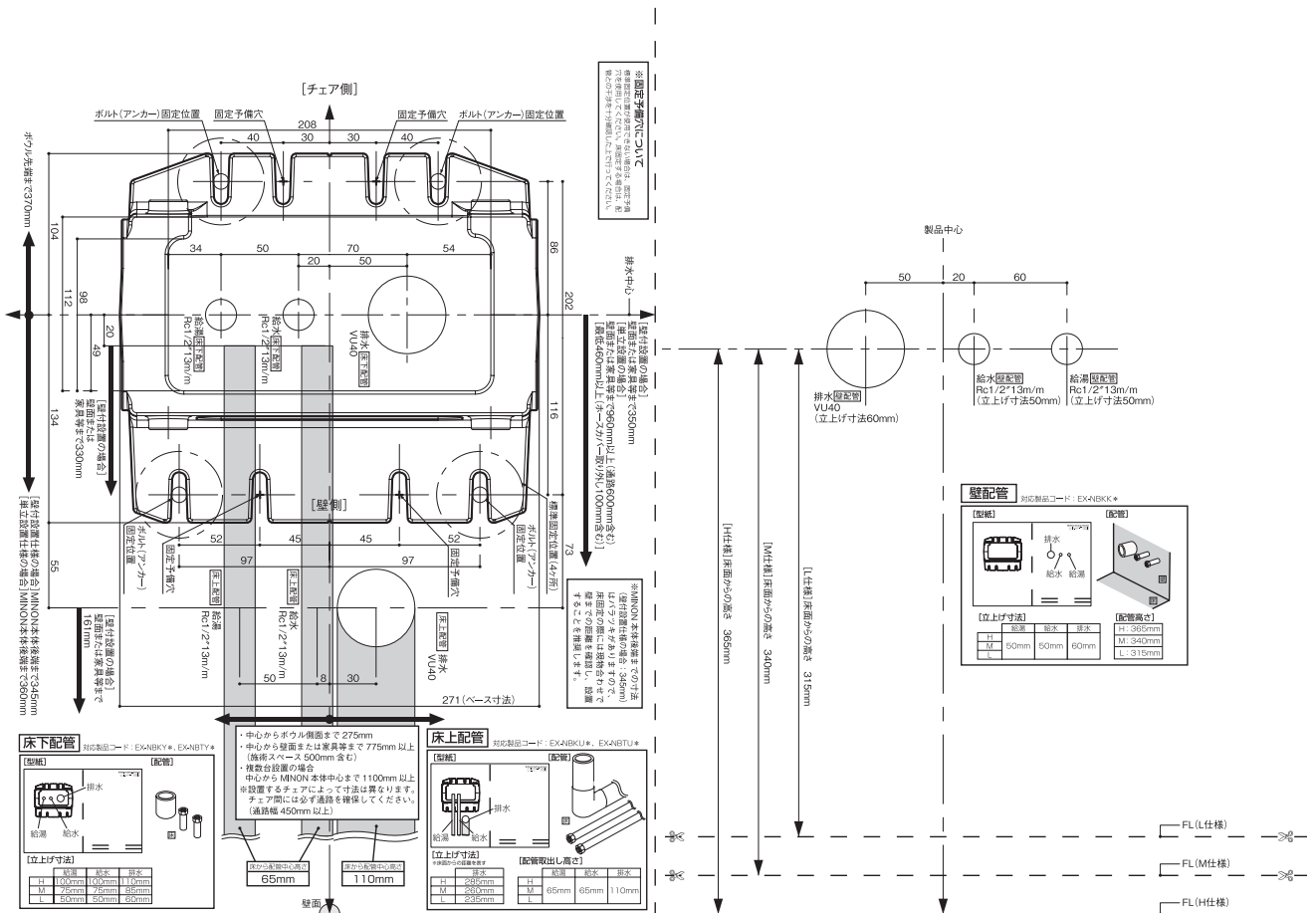
床面仕上げがタイル等の素材の場合、シャンプーユニット取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、取付部分は合板、モルタル等の素材にしてください。

- 1 ベース外形ラインおよびチェアベース床設置部に沿って、内側のタイルまたはガラスをはく離します。このはく離作業は入念に行ってください。はく離部分が見える可能性があります。
- 2 はく離した部分の内側にコンパネを敷きます。コンパネは、周囲のタイル、ガラスよりも高くなるようにしてください。(2~3mm以内)

※固定予備穴について

標準固定位置が使用できない場合は、固定予備穴を使用してください。

床固定する場合は、配管との干渉を十分確認した上で行ってください。

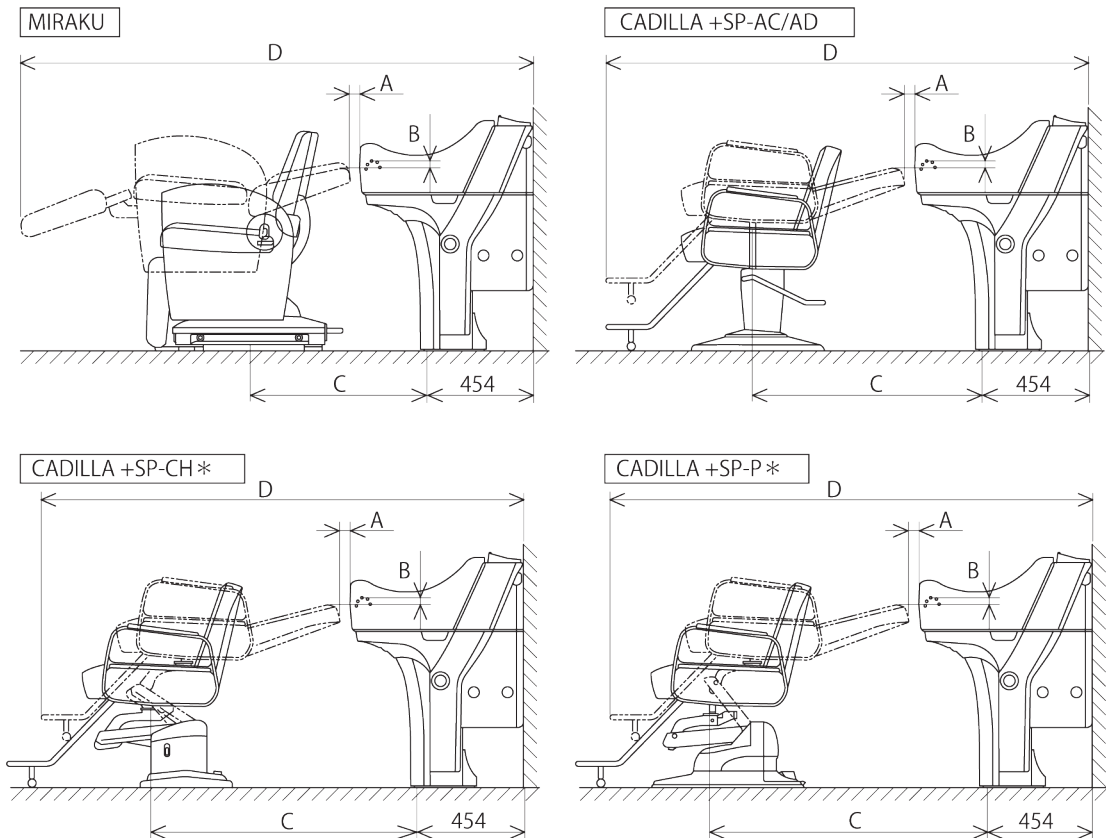


床面には以下の強度が必要です。

- ・木製床の場合、ベニヤ厚30mm以上
- ・モルタル床の場合モルタル厚50mm以上
- ・特殊な床(右張り等)の場合、設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

各イスとの相関

● 美容シャンプー椅子



	チェアベース 製品名	モタレ端/枕端～ ボウル前端距離 (A)	モタレ/枕～ネック 芯材高低差 (B)	ラム中心～ベース前端距離 (C)	製品全長 (寝姿勢) (D)
MIRAKU	—	20 (※1)	0 (※6)	703 (※5)	1845 [S81S] 1935 [S81L] 2030 [S81LX]
E' sy	—	20 (※1)	0 (※6)	705	1920
Able	—	20 (※1)	0	865 ± 15 (※2)	1915 ± 15 (※2)
Estilo	—	20 (※1)	0 (※6)	845	1820
CADILLA	SP-AC/AD	20	15	840	1905
	SP-CH*			870 ± 15 (※2)	1905 ± 15 (※2)
	SP-P*			865 ± 15 (※2)	
BRIDGE	SP-AC/AD	20 (※1)	0 (※7)	825	1915
	SP-CH*		0	865 ± 15 (※2)	1915 ± 15 (※2)
	SP-P*			860 ± 15 (※2)	
SC-205S	SP-AC/AD	20	15 (※7)	840	1880
	SP-CH*		15	880 ± 15 (※2)	1880 ± 15 (※2)
	SP-P*			875 ± 15 (※2)	

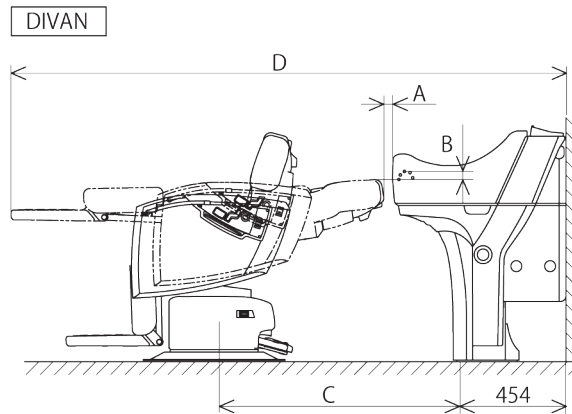
- ※1 モタレ端/枕端～ボウル前端距離 = 50mm (シャワーヘッドのサイズと同等寸法)
- ※2 製品全長 L タイプ: -15mm H タイプ: +15mm
- ※3 製品全長 L タイプ: -10mm H タイプ: +10mm
- ※4 製品全長 L タイプ: -10mm H タイプ: 対応不可

- ※5 MIRAKUの場合、イスベース中心～ベース前端距離
- ※6 アジャスターにて高さ調整が必要
- ※7 H タイプは対応不可
- ※8 枕の凹部は考慮しない
- ※9 モタレの方がネック芯材よりも高い

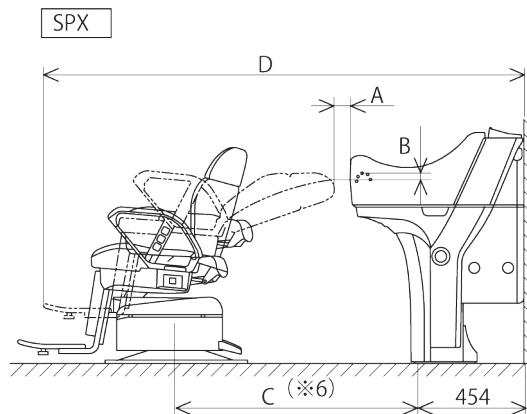
⚠ 注意

- ・表記寸法は実測値となります。ボウルや張りの寸法公差などの製品の個体差により若干実際の寸法値と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・設置完了後のボウルを基準にAおよびB寸法は必ず守ってイスを設置してください。特にチェアベースSP-CH*の製品を設置する際はご注意ください。

● 理容椅子



	チェアベース 製品名	モタレ端/枕端 ボウル前端距離 (A)	モタレ/枕~ネック 芯材高低差 (B)	チェア回転中心 ~ベース前端距離 (C)	製品全長 (寝姿勢) (D)
DIVAN	—	20	0 (※8)	975 ± 15(※2)	2380 ± 15(※2)
REGALO II	—	20 (※1)	- 10 (※9)	920 ± 10(※3)	2180 ± 10(※3)
VARIO	—	20	10	900	2030
MAXIM	—	20	- 10 (※7)(※9)	965 - 10 (※4)	2000 - 10 (※4)
PANTHER 679MS	—	20	10	895	2110



	チェアベース 製品名	モタレ端/枕端~ ボウル前端距離 (A)	モタレ/枕~ネック 芯材高低差 (B)	イスベース中心~ ベース前端距離	製品全長 (寝姿勢) (D)
ALIVIO TYPE A	—	20	40	935	2065
SPX	—	20	0	865 ± 10 (※3)	2040 ± 10 (※3)

- ※1 モタレ端/枕端~ボウル前端距離 = 50mm (シャワーヘッドのサイズと同等寸法)
- ※2 製品全長 Lタイプ: -15mm Hタイプ: +15mm
- ※3 製品全長 Lタイプ: -10mm Hタイプ: +10mm
- ※4 製品全長 Lタイプ: -10mm Hタイプ: 対応不可
- ※6 アジャスターにて高さ調整が必要
- ※7 Hタイプは対応不可
- ※8 枕の凹部は考慮しない
- ※9 モタレの方がネック芯材よりも高い

⚠ 注意

- ・表記寸法は実測値となります。ボウルや張りの寸法公差などの製品の個体差により若干実際の寸法値と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・設置完了後のボウルを基準にAおよびB寸法は必ず守ってイスを設置してください。特にチェアベースSP-CH*の製品を設置する際はご注意ください。